

# 桐蔭横浜大学メディアエーション交渉研究所

## 2010年度第2回公開研究会のご案内

この度、桐蔭横浜大学メディアエーション交渉研究所において、下記の要領にて、公開研究会を開催することとなりましたので、ご案内申し上げます。ふるってご参加下さいますよう、お願い申し上げます。

### 記

日 時： 2011年3月5日(土)13 時20 分～17 時00 分

受 付： 当日12 時30 分より受付を始めます。

場 所： 桐蔭横浜大学(法学部)棟203室

〒225 - 8502 横浜市青葉区鉄町1614 番地

参加費： 無料(会場・資料の準備の都合がございますので、お手数ですが、末尾の要領にてお申し込みのメールいただきましたら幸いです。)

### プログラム概要：

開始時刻	内 容
13:20～	<b>【開 会】(13:20～13:30)</b> 開会の辞—大澤恒夫・桐蔭横浜大学メディアエーション交渉研究所所長 (桐蔭横浜大学教授、弁護士)
13:30～	<b>【第1部】特別講演 (13:30～14:30)</b> 猪原健弘氏(東京工業大学社会理工学研究科価値システム専攻 教授) タイトル：「仲裁・調停・合意形成の数理」 概要： 数理経済学やゲーム理論、社会選択論などでは、交渉・仲裁・調停・合意形成などを数学的に表現・分析する。本報告では、交渉・仲裁・調停・合意形成などを数学的に表現・分析するための枠組や、それらを用いて得られる分析結果のいくつかを示すことで、交渉・仲裁・調停・合意形成などの性質を紹介したい。 キーワード： 囚人のジレンマ、ナッシュ交渉解、最終提案仲裁(Final Offer Arbitration: FOA)、調停における代替案生成、合意の安定性。
14:30～	～休憩～(14:30～14:40)

14:40～	<p><b>【第2部】特別講演（14:40～15:40）</b></p> <p>渡邊正昭氏（渡邊アーク総合法律事務所代表、弁護士・弁理士）</p> <p>タイトル：「司法型ADR内部における手続主体間の相互作用について（司法和解と家事調停を題材として）」（仮題）</p> <p>発表意図：私的紛争が、司法型ADRという制度的紛争解決装置の中に取り込まれた場合にどのような影響なり変容を受けるかを、紛争主体間又は手続主体間の相互作用という観点から、社会的に分析しようと思います。その上で、あるべきメディアエーションの方向性についても検討したいと思います。</p>
15:40～	～休憩～（15:40～15:50）
15:50～	<b>【ディスカッション】（15:50～16:50）</b>
16:50～	<p><b>【閉会】（16:50～17:00）</b></p> <p>閉会の辞—大澤恒夫・桐蔭横浜大学メディアエーション交渉研究所所長</p>

申込方法：参加ご希望の方は、下記事項をご記入のうえ、2月25日（金）までにメディアエーション交渉研究所宛にメール([medinego@cc.toin.ac.jp](mailto:medinego@cc.toin.ac.jp))またはFAX(045-974-5012)にてお申込みいただきますようお願い申し上げます。

ご芳名

ご所属及び役職

ご住所及び電話番号

ご不明の点などございましたら、メディアエーション交渉研究所までメールにてお問い合わせください。

大学へのアクセスは、

([http://www.cc.toin.ac.jp/univ/access/univ\\_access.html](http://www.cc.toin.ac.jp/univ/access/univ_access.html))

キャンパスマップは、

(<http://www.cc.toin.ac.jp/univ/access/maps.html>)

をご覧ください。